

【PMoA 開催レポート】

親子で楽しむイベント「アート・ワークショップ ～子どもと大人のためのやんわり芸術講座」

1. 開催概要

- ・日時 2023年11月19日
- ・会場 ナギサウラ
- ・参加者数 8組
- ・当日メンバー（企画・運営：佐野、高橋 サポート：関根、中西）

2. 企画から実施までのこと

- ・企画のきっかけ
2つのワークショップを開催することとなり、一つは社会人向けであり、PJATAMI から子供向けイベントの要望&PMI 側検討メンバーも子供向けをやりたい意向があり、子供向けイベントとして企画検討を開始。途中、外部メンバーからの提案で子供向け→親子向けへ途中で方針変更となった。
- ・企画のコンセプト
タイトル：親子で楽しむイベント「アート・ワークショップ ～子どもと大人のためのやんわり芸術講座」の通り、親も子も並行してアートを製作し、後で両方を合わせて親子の新しい会話に導く。
- ・コラボレーション等
斉藤理事から紹介頂いたひいなアクション(金沢市)にまずアプローチし、企画の骨幹を決めていく中で、PJATAMI から Grant アーティストの連携・紹介打診があり、Grant アーティストの安村氏が参画。2組の共創のイベントとなった。
- ・工夫した点
親子向けワークショップへ変更した時点で、子供の製作を親が見守るのではなく、親も製作し、子供・親ともどんな製作を実施したのかを披露したときの驚きや、共同作業にて双方の創作物を合わせて、子供の秘めた面を親が新たに知るなど新しい親子間の会話の創出ができるようにしたこと。
- ・苦労した点
2組のアーティストの選定～コラボレーションの検討部分が PMI 側には状況が見えなかったため、どんなワークショップになるか直前までわからなかったことや、集客にて PMI 会員からの申込がほぼゼロで、現地申し込みを開催前 2 週間で一気に増やす必要があったなど。
アーティストが金沢、福井在住だったため、交通費費用が重く、事前の現地確認や当日

の出張費用について、調整が必要だった。

3. 当日の様態と実施成果

・会場について

ナギサウラの正面と裏面(アトリエ)に分けて開催したのは結果的に親子の創作内容が共同作業までわからなくすることができてよかった。ナギサウラの協力もよくしていただき、問題なくワークショップを進行できた。

・講師について

親向け(ひいなアクション)、子供向け(安村さん)とも創作サンプルや、創作に必要な部材収集なども積極的に実施頂き、当日の製作はスムーズに行った。

・参加者について

ナギサウラが駅から離れていたことがあり、数組が開始時間に間に合わなかったが、サポートメンバー含めてフォローいただき、最終的にはうまくまとめることができた。5歳から小学生までという応募条件の中で、4歳が2名いたり、兄弟も2組いたり当日の子供の状況(早々に飽きてしまうとか)は心配だったが、子供向けのサポート体制を厚くしたりすることや、子供が興味を示す部材を多数集めたことで、飽きる子供はいなく時間が不足する位だったのはよかった。また、親側も指人形作成を機械的に実施する方がいるかと捉えていたが、皆真剣に針や糊などを駆使して、子供の分身作成に取り組んでおり、事後のアンケートでも「日常を忘れられて楽しかった」など嬉しいコメントが多かった。

・当日の進行について

上記の通り、講師、サポートメンバーなどにより、スムーズに進行できた。

・当日の学び・参加者コメント

参加者コメントの詳細は別途作成済のアンケートシートを参照頂きたいが、評価は概ね高かった感触。当日の学びは上記までに記した通り、初めての親子向けワークショップの企画であったが、経験を持つ2組のアーティストと連携したなどでPMI側の経験不足を補うことができ、未実施の企画でも外部の有識者・経験者をうまく連携できれば成功に導けるといふ学びとなった。

4. 今後に向けて

・担当者所感

本イベントがPMI会員向けとするのであれば、PMI会員の参加がゼロだったため、来年度の開催は検討が必要と感じる。PMI会員に事前アンケートを取るなどして、要望が多く・集客が見込める内容に変えていく必要があると感じる。

子供向けイベントを実施するのであれば、イベント参加者は開催地周辺を対象とするか、長期休暇などを活用して、泊りがけのイベントとして開催するかの検討も必要だと感じ

た。

- ・ 今後も続けていきたいこと

アート自体に興味があり、ATAMI アートグラントの展示にも感銘を受けたものがいくつかあったので、熱海は場所が遠いが、定期的に訪れてみたいと感じている。

親向け、子供向けのWSはたくさんあるが、親子が向き合うことができるWSは、とても今の時代に必要なテーマを扱っていると感じた。親子が向き合うことができるWSをまた開催出来たらよいと考えている。

- ・ 改善したいこと

上記の通り、PMI 会員の参加を期待できるイベントにしていくことが必要と感じる。

- ・ 今後挑戦したいこと

メタ ATAMI の活動には興味あり。

<活動写真>

